



正しい明るい市議選にしたい

「義理の選挙は
ナンセンス」

新年度の予算案を見ると、懸案の新年度の予算案を見る。選挙の主要な人件費の増大のみに予算の主要な部分が使われてしまい、直接市民生活に役立つ政策が庄迫を受けていた。いささか失望された。これを見て反映した市議会で選るところでありその点で選舉の意義は重大だと感じる。そこで、いささか失望された。これをもとに市議選を実行するには、まずは市議会で選るところである。市議選は重いものだ。市議選は重いものだ。

私は選挙区制を先ず、大選挙区制はすべきだと思う。他の市では、大部分が大選挙区制になっている。そして今までのような部落根柢的な考えをもめて、七万飯田市民の上に立って市のすみすみまで届く人を選びたいと思う。又選挙運動期間中部落の組合衆を動員したり、婦人が廻り香の重きを持て事務所へ出かけたりするやうな悪習は是非切捨てたい。そんな余裕な時間があつたら、冷静に候補者の素質等をよく把握した上に立つて市議選に臨むことである。

選挙をすることはナンセンスも甚しい。理想的を愛する青年や現在の金の力による選挙を愛する有識のみならず、相手の抵抗はあるが正しことを主張する勇気を持つことはありません。

「先ず大選挙区制に」

伊賀良 四十三才、男
22才、女

幸福な生活と、平和な明るい社会を建設したい。どうは誰もが望む事である。私達の日常生活の全てが政治に結びついている。

選挙と云ふ形式は誰のものでもない。私達市民のための権利である選挙により私達の代表が選ばれるのである。市議選も近づいてきた。市議選も近づいてきた。市議選も近づいてきた。

選挙には、三百三十一年九月に一市七ヶ村が合併して大飯田市が誕生してから今年

川村の人口は一千七百六十六人

飯田市の人口六万七千五百五十六人で川路が飯田市に合併することによって総人口七千一百七十二人

になるわけです。

川村の人口は一千七百六十六人

飯田市の人口六万七千五百五十六人で川路が飯田市に合併すること

